

BBS GROUP NEWS

VOL.65 JULY 2023

お客様とBBSをつなぐコミュニケーションツール



CONTENTS

- Page 2 — 対談
JFEシステムズ株式会社 株式会社ビジネスブレイン太田昭和
代表取締役社長 × 代表取締役社長
大木 哲夫 小宮 一浩
- Page 4 — 特集
公認会計士／税理士が語る
インボイス制度とペーパーレスによる業務効率化
- Page 6 — BBSと親子で学ぼう ～インターネットの仕組み～
- Page 7 — 第6回 | BBS 絵画コンクール 受賞作品発表
- Back cover — NEWS



パーパスを経営の軸に 社員の求心力を高め 新たな価値を創造する

JFEグループの企業をはじめとするお客様に多様なITソリューションを提供するJFEシステムズは、設立40周年を機に企業理念を刷新しました。この理念に基づき、同社どのような企業運営を志向しているのか。同社代表取締役社長の大木哲夫氏に、当社代表取締役社長の小宮がお話を伺いました。



対談内容のフルバージョンをWebサイトに掲載しています

お客様のスマートな働き方を支援して 社内の働き方もスマートでハッピーに

小宮 御社は新たな企業理念を発表されました。当社も微力ながらご支援させていただきましたが、その背景をお聞かせください。

大木 背景には、2023年9月に迎える設立40周年があります。当社の母体は川崎製鉄、現在のJFEスチールのシステム部門で、グループ内外のお客様にITサービスを提供してきました。設立40周年を機に、存在意義をよりクリアにし、社員、お客様、ビジネスパートナー様、さらには当社への入社を希望される方々へ、わかりやすいメッセージを届けたいと考えたのです。そこで今回、企業理念を「パーパス、バリュー、行動指針」と体系的に整理し

て社員が業務に取り組む際の拠り所にするとともに、当社が何を信じ、どのように社会へ貢献していくのかを明確にしました。

小宮 パーパス経営を推進していくということと思いますが、パーパスの策定までには、社内でかなり議論されたのでしょうか。

大木 議論というよりも、お客様やビジネスパートナー様、社員から集めた言葉を集約し、共通項を見つけ出してまとめました。その推進役は、若手社員に担ってもらいました。社員主導で言語化した方が、社内外に届く力強いメッセージになると考えたからです。こうして誕生したパーパスが、「はたらくをスマートに。はたらく人にスマイルを。」です。この言葉には、お客様のスマートな働き方の実現をサポートしつつ、自分たちもスマートに働きハッピーになりたい、という思いが込められています。



大木 哲夫

1984年、川崎製鉄(現JFEスチール)入社。JFEホールディングス 常務執行役員、JFEスチール 専務執行役員などを歴任。2020年にJFEシステムズ 代表取締役執行役員副社長に就任した後、2021年6月より現職。

経営層が自らのパーパスを語り 社員の具体的な行動につなげていく

小宮 当社は、経営計画を着実に推進していくために、創造、責任、連帯の大切さを伝える社訓の浸透を図る施策を進めています。御社では、新たな企業理念の浸透に向けて検討されていることはありますか。

大木 社外には、社員の名刺やWebサイトなどでのメッセージ発信を計画しています。社内に対しては、理解と共感が大切になると考えています。そこで進めているのが、役員クラスが率先して自身のパーパスを語ることに。このことによって、各職場でパーパスを考えてもらい共有することで、パーパスに沿った行動が社員一人ひとりに浸透していく——私がめざすのはそんな形です。

小宮 共感を重視されているわけですね。

大木 その意味でパーパスを社員主導で導き出したのは、大きな意義がありました。

適財適所を実現する 人財マネジメントシステムを構築

小宮 パーパス策定の背景の一つに、人財のお話もありました。採用の状況などはいかがですか。

大木 大卒新入社員は、前年より多くの人財を採用できました。採用に関わる社員を増やして多くの学生さんと会い、丁寧にサポートしたことが好結果につながりました。一方、キャリア採用は難しい状況です。そこで今後は、即戦力に加えて入社後の育成を前提にした人物本位の採用も検討しています。

小宮 人財不足は日本の構造的な課題です。DXはその解決策

の一つですが、御社ではどのように取り組まれていますか。

大木 人財関連のDXでは、すべての社員に適財適所で活躍できる環境を提供できるよう、タレントマネジメントシステムの整備を進めています。また、将来の経営人財の育成に向けて、新たな人事システムの構築にも取り組んでいます。

環境・社会的側面の取り組みを強化し 持続的な成長につなげていく

小宮 当社は「企業の総合バックオフィスサポーターになる」というスローガンのもと、お客様のDXを支援して社会に貢献していくことを目標に掲げています。御社の環境・社会的側面の取り組みについてもお聞かせください。

大木 親会社の鉄鋼業は、生産時にCO₂を排出し、水も多く使用します。CO₂排出や水使用の削減は世界的な社会課題であり、そのソリューションをITの面から追求することで、サステナブルな社会の実現に貢献したいと考えています。

小宮 御社ならではの視点から画期的なソリューションが誕生することを期待しています。最後に、今後の目標やその実現に向けた取り組みについても、お聞かせいただけますでしょうか。

大木 まずは一般顧客向け事業を伸ばして、グループ向けとの2本柱で、着実に成長する体制の確立を進めています。また、長期的な人財戦略として、優秀な外国籍人財を積極採用し、その活躍の場を海外に広げることも視野に入れながら、成長力をより強固にしていきたいですね。もう一つ、すべての社員が個性を発揮して活躍し、その成果で希望のポジションに就ける環境も整備します。その具体策の一つとして女性の活躍を支援していきます。

小宮 今注目されているダイバーシティ&インクルージョンの推進ですね。本日は、パーパス経営を中心に、さまざまなお話を伺うことができました。貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。



公認会計士／税理士が語る



インボイス制度と

ペーパーレスによる業務効率化



(株)ビジネスブレイン太田昭和 アカウンティング・コンサル本部 CPA室 フェロー

矢野敬一 (やの けいいち)

公認会計士／税理士。私立開成高等学校、学習院大学法学部法学科卒業後、朝日監査法人(現・有限責任あずさ監査法人)、大手ERPベンダーを経て現職。内部統制、経理業務改革、ERP導入を支援するなかで、近年はペーパーレスの専門家として多くの業務改革プロジェクトに従事。セミナーでも多数講演。



業務のペーパーレス化に関するコラムはこちら

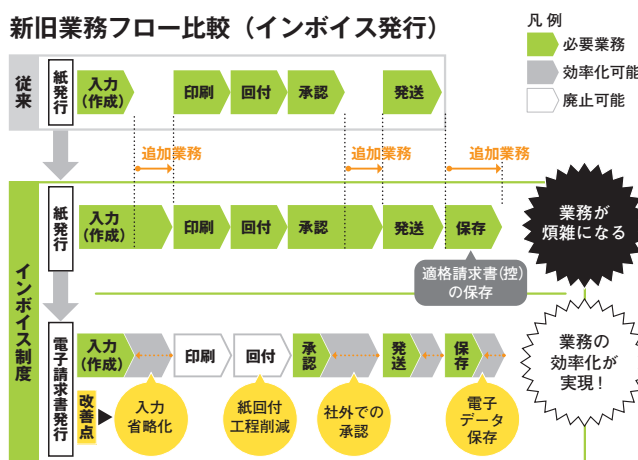
インボイス制度対応で増える業務負荷

インボイス制度が2023年10月から始まります。皆様、準備は順調でしょうか？ 昨年うちにシステム対応にめどを付けている会社もあれば、これから検討を始める会社もあります。システム改修の規模が大きい会社ほど、早くから準備している印象があります。

さて、一部で誤解があるようですが、インボイス制度で変わるの、請求書のフォーマットではありません。この制度によって仕入税額控除の要件が厳格化されます。そして、厳格化される要件に対応するための業務は煩雑になります。例えば、売手から受領した請求書等や自社が送付する請求書等が法要件を満たしているかを確認する業務が増えます。売手は、買手の求めに応じて適格請求書を発行する必要がありますが、適格返還請求書については、買手の求めがなくても発行する義務があり、この対応も増えます。

また、委託販売では、売手と買手のほかに受託者が登場しますが、従来、買手は受託者から請求書を受領して仕入税額控除を受けていました。これがインボイス制度においては、売手、受託者ともに適格請求書発行事業者でないと、受託者からの適格請求書を受領しただけでは、買手は仕入税額控除ができなくなります。そのため、売手、受託者ともに適格請求書発行事業者の場合とそうでない場合とで業務フローを分けるなど、きめ細かい対応が要求されます。

新旧業務フロー比較 (インボイス発行)



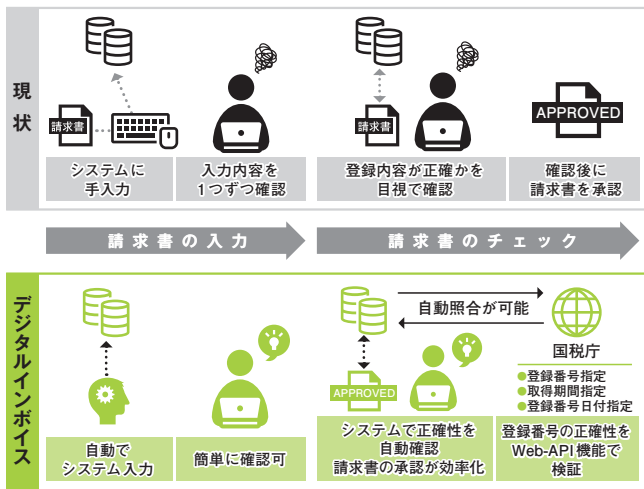
ペーパーレス化で業務の効率化を

インボイス制度対応では、単に法要件を充足するという視点だけでは足りず、業務をいかに効率化していくかが重要な視点になります。この視点が欠けると、経理要員を増やす、残業が大幅に増えることにもなりかねません。こうした業務効率化の観点から、「ペーパーレス化」が重要になります。

インボイス対応業務のペーパーレス化については、適格請求書等に電子取引を導入することが考えられます。例えば、請求書等に記載された登録番号の正確性を確認しようとする場合、紙で請求書を受領すると、登録番号をシステムに毎回手で入力す

ることになります。手入力は煩雑で、間違っ て入力する可能性もあります。当然、間違っ たデータに基づく確認では、請求書等に記載された登録番号の正確性を確認することはできませんし、データの間違いを第三者確認などで防止するのも非常に手間がかかります。そのため、「毎回登録番号を確認するのはやめよう」「では、どのくらいの頻度で確認しようか」といった話になります。

デジタルインボイスを使った改善後の姿



しかし、適格請求書等の授受に電子取引を導入すると、適格請求書等の情報をシステムにシームレスに取り込むことが可能になり、登録番号の確認業務もシステムで簡単に実施することができます。請求書等の情報の入力業務は不要になり、業務が効率化されます。

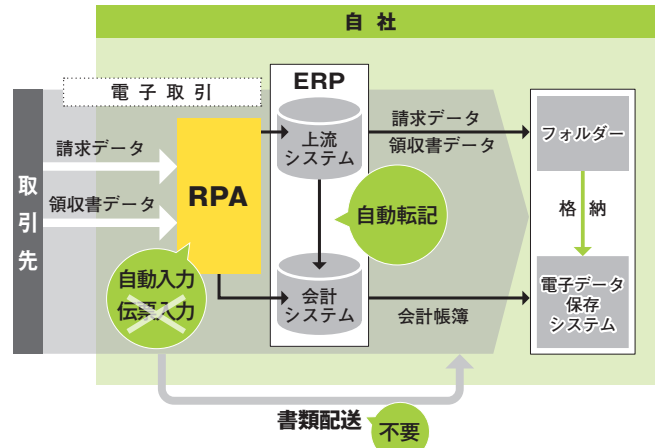
ただし、電子取引の形態としてPDFなどの画像データをやり取りする方法を採用してしまうと、システムに請求書等のデータをシームレスに取り込むことができません。システム検討の際にデータ取り込みの意識がないと、電子取引の保存のために、1個1個のファイルに対して検索用のデータを入力して保存するといったことになりかねません。

請求書等のデータをEDIなどで授受する方法があります。この場合、EDIで授受した請求書等のデータがシステムにシームレスに取り込まれ、そのデータを要件に従って保存すれば、電子取引の保存が実現します。このように、授受した電子取引データをシームレスにシステムに取り込めるというのが、電子取引活用の大きな利点です。この観点から、政府はデジタルインボイスの普及に取り組んでいるといえます。

「ペーパーレス化を実施しても業務効率は上がらないのではないか」とのコメントを聞くことがあります。もちろん単にペー

パーレス化をしても業務を効率化できるとは限りません。業務の効率化を達成できるようにペーパーレス化の姿を描き、そのうえでペーパーレス化を実施する必要があります。また、このようにあるべき姿を描くことで、例えば売手側における適格請求書等の発行・発送業務の簡素化なども可能になります。

ペーパーレス業務のめざすべき姿



ペーパーレスの視点は電子取引の電子保存にも

電子取引の電子保存については、令和5年度(2023年度)の税制改正では、猶予措置を除けば、2024年1月から「要件に従って電子保存を実施する道」と「電子取引を紙出力して、その紙を今まで以上にしっかり管理することにより電子保存の要件が緩和される道」ができました。つまり、ペーパーレス化を進める道と紙の管理を充実させる道ができました。

DXを進め会社の競争力を向上させるといふ観点からは、電子取引の電子保存を進めていく必要はあると思いますが、その際にはペーパーレス化／ペーパーレス業務をいかに構築するかを意識することが重要と考えます。

つまり、「最低限度の電子取引対応」(電子取引の電子保存という法対応を目的とし、業務の効率化を直接目的としていない対応)のみを指向すると業務はかえって煩雑になってしまいますが、「ペーパーレス業務の構築」を指向し、ペーパーレス化によって業務の効率化を実現し、付随的に関連する法対応も行うというスタンスにすることで会社の競争力が増すといえます。

インボイス、電子取引の電子保存といった新しい制度が始まりますが、受け身的に対応すると業務負荷が高まる可能性が高いです。新制度を利用して、ペーパーレス業務を構築し、業務効率化を図っていくことが重要ではないでしょうか？



ビー ビー エス おや こ まな
BBS と親子で学ぼう

はぎはら けん た せんせい (株)会社 ビジネス プレイン 太田 昭 和 コーポレート マーケティング 室 室長



インターネットの仕組み

このコーナーでは、小中学生の皆さんが大人になって、社会で活躍していく時に役立つ知識を解説しています。今回のテーマは皆さんが日ごろよく使っている「インターネット」。その仕組みについて学んでみましょう。



インターネットって何ですか？

世界中のコンピューターをつなぐネットワークのことです。私たちはそのネットワークを通して、パソコンやスマートフォンで自分がほしい情報を見たり、聞いたり、交換したりしているんですよ。



難しくてよくわかりません????

簡単に言うと、皆さんが葉書や荷物を送ったり受け取ったりする仕組みと同じです。



え、郵便や宅配便と同じ仕組みなの？

はい。皆さんは荷物を送る時、自分の住所と相手の住所を書いて、郵便局や宅配便などの窓口を持っていきますよね。その荷物が相手の住所に届く、その仕組みと基本的には同じなのです。



そうすると、郵便屋さんや宅配便さんが「ネットワーク」ということですか？

はい、正解です。目に見えないのでわかりにくいですが、スマートフォンなどを買って契約する時には、その契約に宅配便さんとの契約も含まれているのです。



そうなんですか。郵便や宅配便と同じということは、実際に配達する仕組みがあるということですか？

そうですね。例えば、葉書がポストから近くの郵便局に運ばれ、相手先の近くの郵便局を経由して、最終目的地まで届けられるのと同じように、インターネット上の情報も、手元のスマートフォンから信号を流すと、その信号をやり取りするいくつかの通信基地を通して相手の機器に運ばれます。



インターネットにも住所はあるの？

実はインターネットの世界にも最初から住所があり、皆さんの通信機器にも通信を行うための住所にあたる番号(IPアドレス)が割り当てられています。インターネットの世界では、その住所を使って、情報が運ばれているのです。



少し難しいですが、インターネットは見えないけれど郵便や宅配と同じ仕組みがあって、情報が運ばれていると理解しておけばいいですかね？

そうですね😊



POINT

当たり前のように使っているインターネットですが、その仕組みを知ると、パソコンやスマートフォンを使うことがもっと楽しくなりますよ！

第6回 | BBS 絵画コンクール 受賞作品発表!

テーマ ▶ ぼく・わたしが描く未来

子どもたちの想像力や表現力を育むことを目的に開催しているBBS絵画コンクール。BBS社員をはじめ、小宮社長も選考に参加し、合計12点が受賞作品に決定しました。そのうち優秀賞までの6点をご紹介します。今回も全国からたくさんのご応募ありがとうございました。



第65号表紙

りん はくそう
林 伯創さん (神奈川県)
『未来の街をまわる恐竜たち』



大きい恐竜は「パトロール恐竜」。角がセンサーになっていて、悪いことをする人を見つけると光る。しっぽはサイレンになっていて、捕まるまで鳴り続ける。でも反省すれば解放される。小さい恐竜は「みまもり恐竜」。この子の角もセンサーになっていて、ケガした人を見つけると、救急隊に連絡してくれる。迷子を見つけると、交番に連れてってくれる。



第66号表紙

うお せ あきとし
魚瀬 諒寿さん (神奈川県)
『宇宙トレインで出発!!』



ぼくは電車が大好き!! 電車に乗って宇宙まで行けたらいいな。窓から見る地球はきれいだろうなあ。



ふじい きほ
藤井 喜穂さん (福岡県)
『音楽で世界を1つに!』



すぎもと かずは
杉本 一葉さん (愛知県)
『海中の未来都市』



のさか みづき
野坂 美月さん (東京都)
『みらいのわたし』



ちば こはるさん
千葉 こはるさん (宮城県)
『大好きなぬいぐるみたちとお菓子パーティー』



BBS GROUP NEWS

グループの新着情報をダイジェストでご紹介します。
各ニュースの詳細は右のQRコードからWebサイトでご覧いただけます。



01 BBS 本社オフィスが2つの デザインアワードにて選出

2021年12月に移転したBBSの本社オフィスが、「SKY DESIGN AWARDS 2022」にて銀賞を受賞、また、「Interior Design's 2022 Best of Year Award」にて優秀作品に選出されました。

現在のオフィスは、従来の占有面積を4割削減し、サステナビリティやカーボンニュートラルに対応しつつ、テレワークを前提とした新しい働き方に沿ったオフィスです。

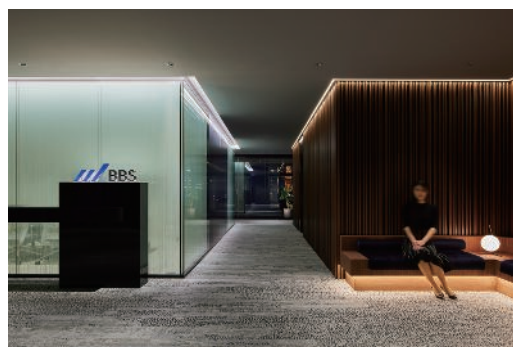
デザイン、設計、施工は株式会社乃村工藝社様にご協力いただき、BBSが1967年の創業以来、お客様の経営会計を支えてきた「歴史」と、これからもお客様のデジタル変革を支える「近未来」の融合をイメージした、イノベーションスペースとしてのオフィスを実現しました。詳しくはBBS Webサイトの「オフィス紹介」をご覧ください。



SILVER WINNING PROJECT
INTERIOR DESIGN



「オフィス紹介」
はこちら



写真提供:ナカサ&パートナーズ

02 「スポーツエールカンパニー」に認定

BBSは、従業員の健康増進のためにスポーツの実施に積極的に取り組んでいる企業として、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」に認定されました。クラブ活動の支援やウォーキングイベントなどを実施しています。

今後も従業員の健康増進やコミュニケーションの活性化につながる施策を継続的に行っていきます。

BBS が
スポーツエールカンパニー2023
に認定されました。



03 バックオフィスDXPO 大阪 '23に出展

2023年3月14日～15日に開催された「ITソリューション総合展」(通称:バックオフィスDXPO 大阪 '23)に出展し、製造業向け企業資源計画(ERP)を実現する「mcframe」や、お客様の会計を支える「Biz」会計導入テンプレート」を紹介しました。

10月に福岡で行われる「バックオフィスDXPO 福岡 '23」にも出展を予定しています。ご来場の際は、ぜひBBSのブースにお立ち寄りください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

管理部門 ITソリューション総合展
通称:バックオフィスDXPO

